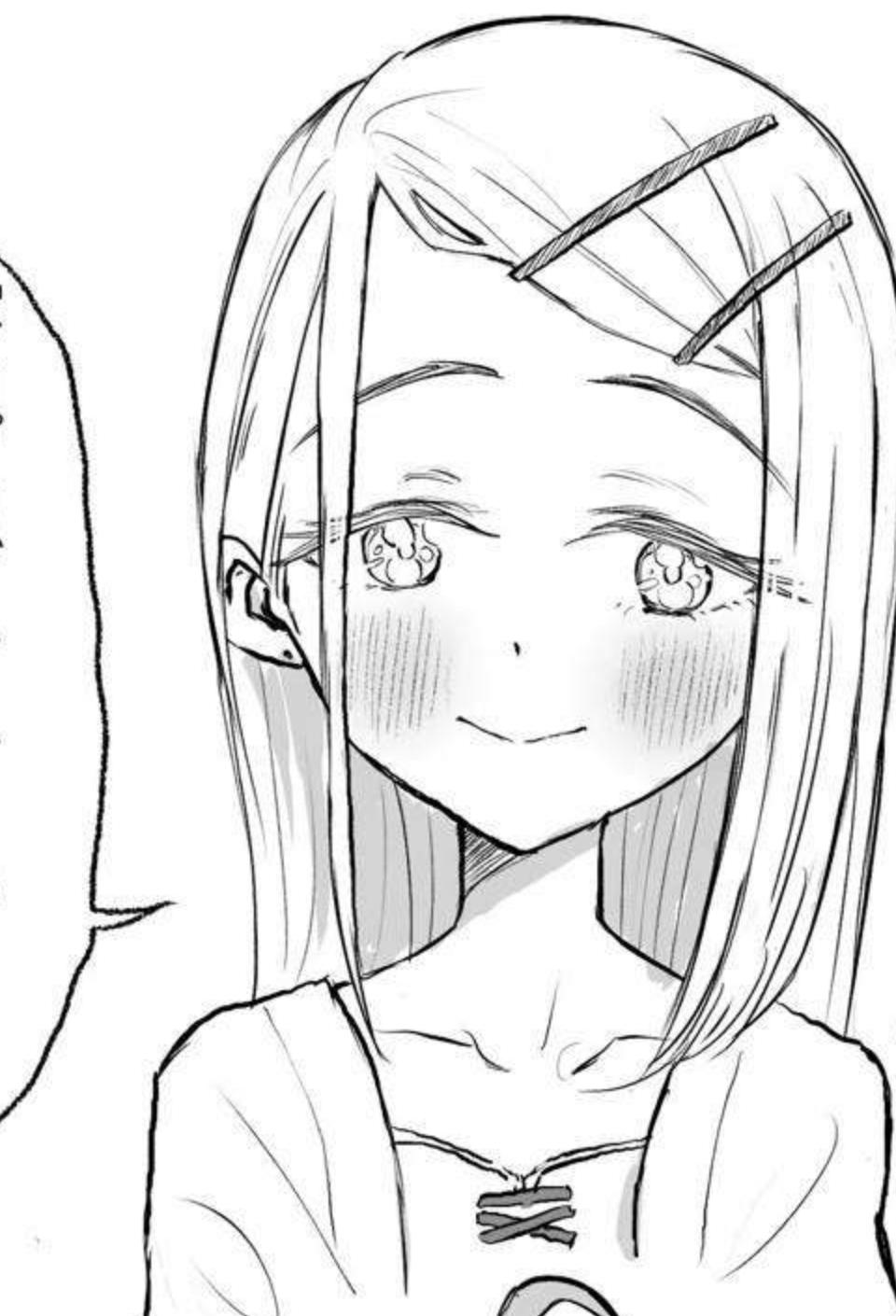


「これかく
夕イトリ

「今日はプロデューサーと
えっちするから、
佑芽と一緒に来てほしい。」

わたしの体力だけで
満足させてあげられるか
心配だった。
引き受けってくれて
ありがとう、佑芽…



よかったです。

佑芽、お願がある

なあに、広ちゃん！
いつも勉強見てもらってるし、
あたしにできることなら
何でも手伝うよー！

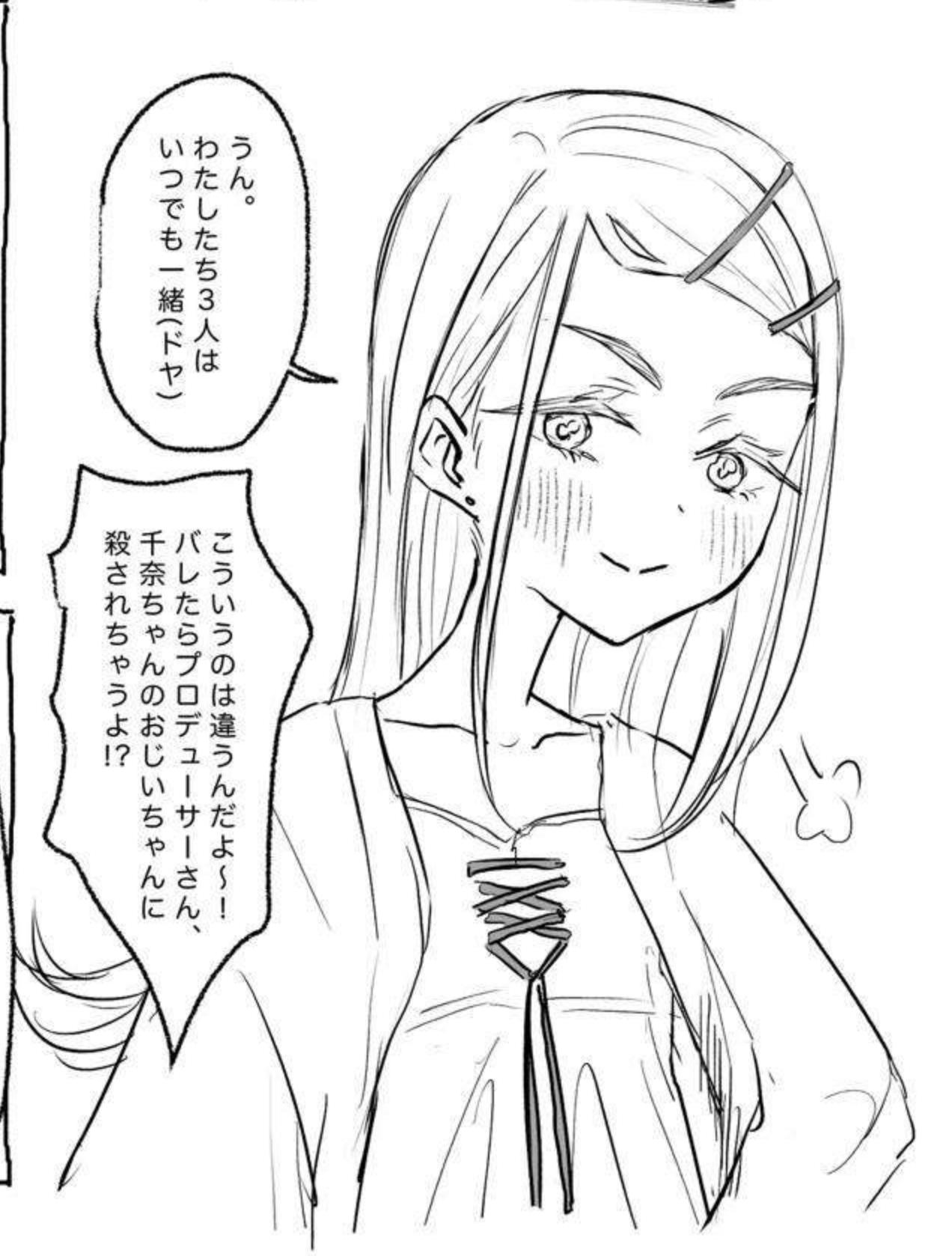
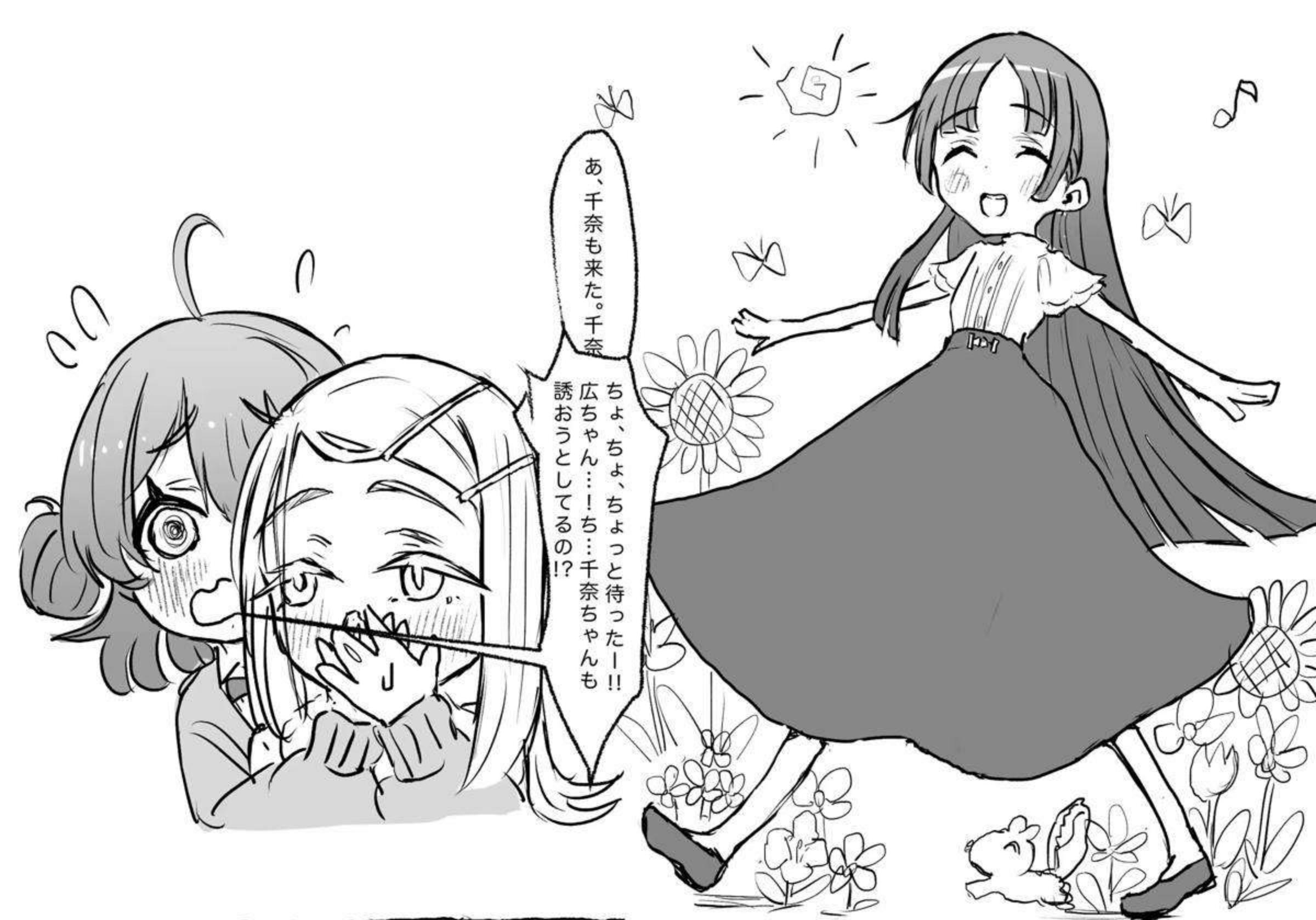


え、え、え、えっちだよ
広ちゃん…!?

うん、だからそう。



ええ～～～～～～～～～～～～！？



……花海さんも
よろしいのですか？

しおうがなかつたんですよお…
プロデューサーさんは
あたしが命の恩人ですかからね

ええっと…
それで2人で来たんですか？

そう。あなたの愛しい担当アイドルと、
学園で最高の肉体を持つアイドル。
我ながら完璧な布陣。嬉しい？

うう……お姉ちゃんには
絶対ナイショですよ…?

ワクワクするね

(わ…わ…こんな
えっちな広ちゃん初めて見た…)

は…つ
♥

はあ
…
♥

ん…ちゅ…



それ、きもち…
♥

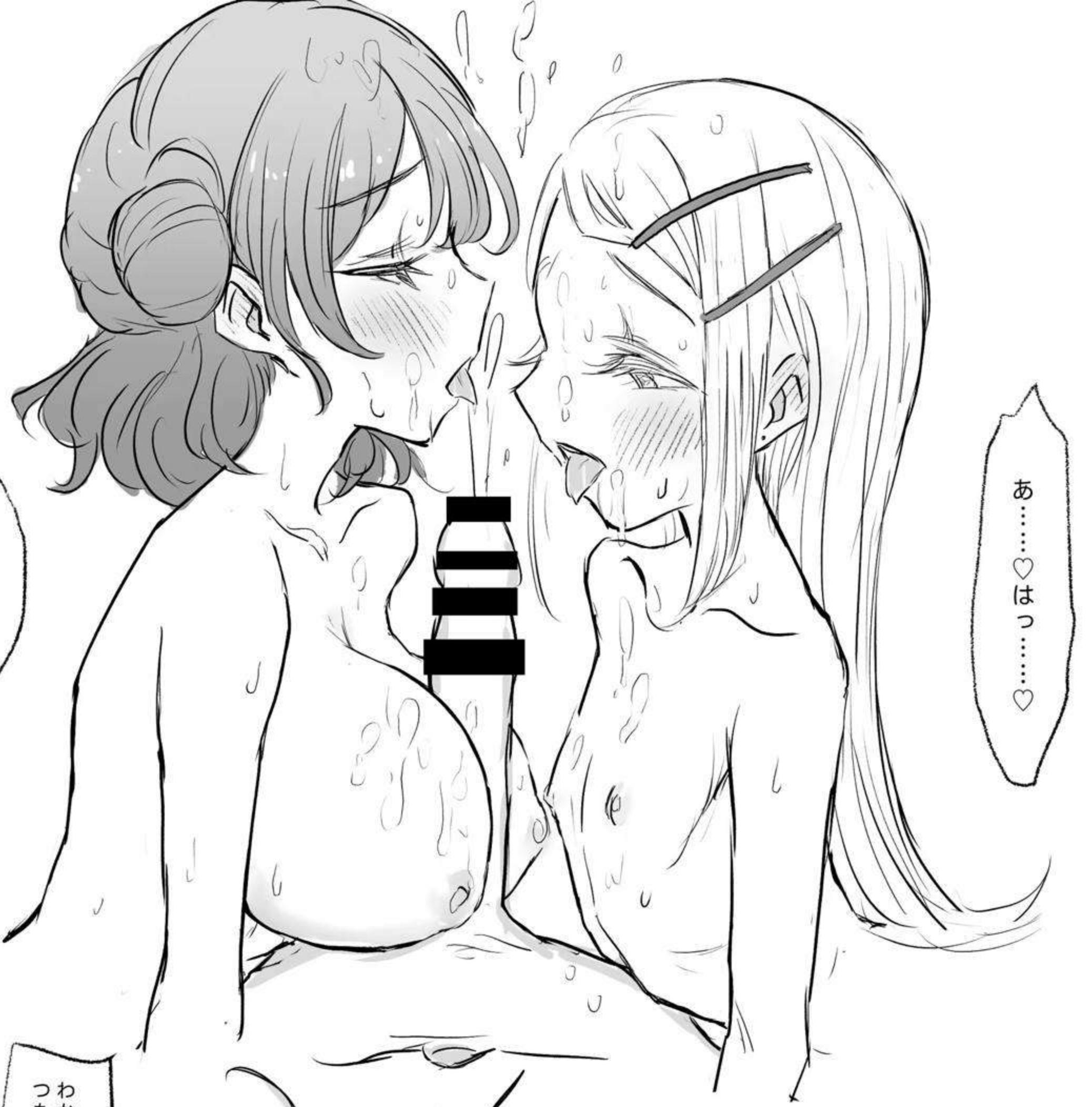
あ
♥

あ…う…
そんなん、
はつきり言わると、
流石に恥ずかしい：

篠澤さんのここ、もう
準備万端つて濡れ方ですね







わかりました(本当は花よ蝶よと丁寧に接するつもりだけどめんどくさいのでいちいち言わない)

(えつ、あたしたち獸の様に乱暴にメチャクチャにされちゃうの…!?)

プロデューサー、まだまだ元気だ、ね。
今日はわたくしたち、獸の様に乱暴に、
メチャクチャにして欲しい。

挿入れますよ、篠澤さん

つは……はあつ……すじい……
わたし……が頼んだら、失神するまで
本当に容赦なく、失神するまで
メチャクチャに犯すなんて
プロデューサーは鬼畜すぎ……
でも、そこが好き……♥

かつ……は……！

えつ……と……

(このプロデューサーさん、
広ちゃんに甘過ぎないかな……?)

ひぎつ…?
♥

ひつ……広ちゃん…?

んつ
♥



ま…負けまじだ…！

イグ…！

花海さんも限界そうなので
そろそろ出しますね

待ってプロデューサー。
最後に射精の時だけわたしに
挿入れて欲しい、な。

死んじやう…！

……なんか凄く
アブノーマルじゃないですか？

大丈夫。色々今更だと思う

主に篠澤さんのせいですぐ。

それはそう。

イッてるの…！
きもちいいのもう
やめてえ…！

はあ、亜紗里先生に鍛えられたから
でしょうか…？

おお…あの佑芽がこんなにあつさり…
プロデューサー、何でそんなに強いの？

わ、さらりと衝撃発言。プロデューサー、
わたしが初めての女じやなかつたんだ。



